

委託業務の進捗状況について

1. 再生可能エネルギーの賦存量及び利用可能量（導入ポテンシャル）調査

(1) 調査概要

表1の利用方法の全てについて、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）等が公開する資料を利用し、市内の地域別の賦存量を調査する。その結果から、市内で有効な再生可能エネルギーの順位付けを行う。

特に、太陽光発電及び太陽熱利用については、詳細な調査研究を行い、実際の利用可能量（導入ポテンシャル）を算出する。

（表1. 調査対象とする再生可能エネルギーの種類と利用方法）

再生可能エネルギーの種類	利用方法
太陽光	太陽光発電
	太陽熱利用
風力	風力発電
水力	小水力発電
バイオマス	バイオマス発電
	バイオマス利用
地熱・地中熱	地熱発電
	地熱利用
	地中熱利用

(2) 進捗状況

環境省及び独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のデータに基づき、太陽光発電、太陽熱利用、風力発電（陸上）、小水力発電及び地中熱利用の導入可能量分布図を作成している。

2. 市内事業所等へのアンケート調査

(1) 調査概要

表2. の市有施設及び市内事業所におけるエネルギー消費量の調査研究を行い、再生可能エネルギーを利用した設備等を導入した場合の効果がわかるように整理を行う。

また、市内事業所における再生可能エネルギー等の導入状況や導入意向、省エネルギー対策についての調査も併せて実施する。

（表2. 調査対象とする施設区分と施設名）

施設区分	施設名等
市有施設	市庁舎（本庁舎、支所等）
	市立病院、環境事業センター、水道局、青果市場
市事業所	エネルギー管理指定工場（第一種・第二種）等 28事業所

(2) 進捗状況

市内の28事業所あてに、アンケート調査票を送付している。(回答期限は12月5日(金))